

他市事例等をふまえ検討する支援策の例

	支援策の例	内容 (実現可能性や費用対効果について検討)	備考
①	代わりとなる施設の周知	<p>文化関係者が、代わりとなる施設を確保できるよう、市内の利用可能施設のリストを作成し、ホームページなど、様々な媒体で周知する。</p> <p>【貸館機能を有する市有施設の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子規記念博物館 講堂 ・総合福祉センター 大会議室 ・青少年センター 大ホール ・男女共同参画推進センター 大会議室 ・坊っちゃんスタジアム スポーツフロア ・アクアパレット 多目的スペース ・公民館(番町) 等 <p>【提供情報の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設名称 ・休館日 ・座席数 ・施設形態(舞台などの有無) ・備品(音響設備やピアノ等の有無) ・使用料(室料、器具使用料等) 等 	他市では、民間施設も含めて幅広く情報提供している事例あり。
②	代わりとなる市有施設の機能強化	<p>現在も文化活動で使用されている市有施設を使いやすくするため、舞台設備(音響や照明等)を充実させる。</p> <p>【充実策の例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・音響や照明設備(備品)の設置・更新 ・舞台袖への幕の設置 等 	文化団体の関係者と現地視察を行い、可能性を確認予定。
③	市による活動機会の提供	市主催の文化イベントの実施など、文化関係者に活動の場を提供する。	
④	使用目的による役割分担	ホール等で開催している講演会などを会議室等に変更することで、音楽、演劇などをホールで開催しやすくする。	市の関連事業で、定期的実施している講演会等を中心に検討を進める。
⑤	その他	<ul style="list-style-type: none"> ・相談窓口の設置 ・代替施設を利用した場合の利用料助成等 	相談窓口を設置する場合、支援機能の在り方についても検討。

※今後、文化団体へのヒアリングなどを通じて、上記以外の支援策も幅広く検討。